

高齢者医療費2倍化法案の撤回を！ 建設アスベスト被害者

「一人残らず救済」求める【倉林参院議員 19日本会議、20日厚労委員会】

- 「高齢者医療費2倍化法案」が19日、参院本会議で審議入り。倉林明子参院議員が、国の医療費抑制路線のもと、病気になった75歳以上の人にさらなる「痛み」を強いる窓口2割負担の導入について、「断固撤回すべきだ」と迫りました。
- 翌20日、参院厚生労働委員会では、最高裁が国と企業の責任を認めた建設アスベスト訴訟をとりあげ、「国の責任で被害者を一人残さず救済するように」と強く求めました。



倉林議員は、裁判で賠償責任が認められたメーカーは10社のみだと指摘。「全ての建材企業が警告義務違反をしてきた。国の責任で全ての企業に責任を果たさせるべきだ」と迫りました。田村厚労大臣は、「与党プロジェクトチームが検討しており、所管省庁と連携して対応する」と答弁。また、「屋外も含め一人残さず救済すべきだ」と迫りましたが、田村大臣は応じませんでした。

「安倍・菅改憲」推進許さない【山下参院議員 19日、憲法審査会】



- 参院憲法審査会が19日、国民投票法改定案の趣旨説明と、各党派による意見表明・意見交換を行いました。山下よしき参院議員は、「同改定案は、安倍前首相の下で改憲議論を進める呼び水として提出されたもので、破綻した『安倍改憲』を再び推進することは許されない」と主張しました。また、菅政権の改憲推進について、「あまりに国民世論とかけ離れた態度」「不要不急の憲法議論にかまけることなく、目の前の命を守り、暮らしを支えるために日々議論し対策を打つことこそ、国権の最高機関たる国会の使命だ」と求めました。

ガザ空爆「正当化」発言を追及【井上参院議員 18日、外務防衛委員会】

- 井上さとし参院議員は、18日、参院外交防衛委員会で、中山防衛副大臣がイスラエルによるパレスチナ・ガザ地区への空爆をめぐる「私達の心はイスラエルと共にあります」とツイートし、空爆を正当化した問題について追及。井上議員は、「(中山発言は)民間人に死傷者が出ているのは遺憾であり、暴力を強く非難するとの日本政府の『見解』とは違う」と指摘。これに対し中山氏は、「これは一政治家としての発言で」「政府の見解と私の立場は同様」と弁明しました。



井上議員は、中山氏がツイッターのプロフィールのトップにわざわざ英語で、「防衛副大臣」と明記している点を指摘し、「このツイートだけが一政治家としての見解などという言い訳は通用しない」と追及。また、ツイートに対して、パレスチナ駐日常駐代表が「人種差別的だ」「殺害された罪なきパレスチナ人への敬意を欠いている」と非難していることを紹介し、「ツイートは、日本の立場をゆがめ、問題の解決につながらない点で大変有害」「撤回をしないなら、副大臣としての資格が問われる」と追及しました。

21近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中・部内資料】

No. 29(2021.5.21)

【近畿選出国会議員の質問】

近畿選出議員の質問概要を随時お伝えします。